

踊子歩道・昭和の森会館 旧天城トンネル 河津七滝

伊豆半島の大地の遺産を歩く旅

GEOPARK FOOTPATH

中伊豆エリア

街道と文学



歩くたび新発見! 伊豆半島ジオパーク IZU PENINSULA GEOPARK

ジオパークとは

ジオパークは、大地(ジオ)と公園(パーク)を組み合わせた言葉で、「世界遺産」や「エコパーク」とともに、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)が世界中で進めるプログラムの一つです。ジオパークでは、地球科学的に価値のあるサイトを知り・守り・活用していくことで「持続可能な開発」を実現します。

伊豆半島ジオパーク ~南から来た火山の贈りもの~



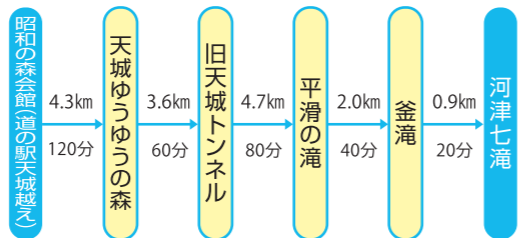
伊豆半島は2000万年前は南洋にあった海底火山や火山島の集まりでした。フィリピン海プレートの北上に伴ってかつての伊豆半島は徐々に北上。やがて本州に衝突し、60万年前にはほぼ今の形になりました。現在も続く火山活動や地殻変動は、伊豆半島に温泉や湧水、山地を造り、人々はその豊かな自然を活用して暮らしてきました。伊豆半島は「南から来た火山の贈りもの」だったので。

伊豆文学の舞台となった 天城越えの道を歩き、 はらかな大地の物語を読む。

約80~20万年前に噴火を繰り返した天城火山。天城越えの難所として知られる急峻な地形は、その活発な火山活動から生まれました。旧天城トンネルを通るつづら折りの道は、近代文学の舞台として、多くの名作を生み出してきました。また天城地域は、黒潮の湿った空気をもたらす豊富な雨や「河津七滝」の清流に恵まれた、豊かな水の里でもあります。

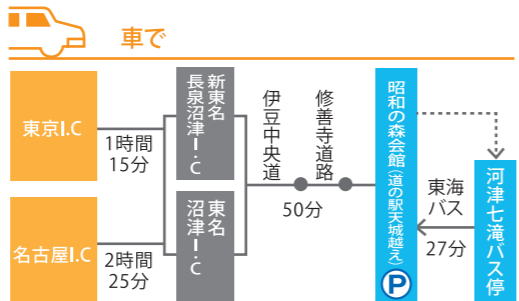


中伊豆エリアコース



アクセス

| 電車 | |
|---------|--------------------|
| 東京駅 | 特急「踊り子号」 2時間10分 |
| 名古屋駅 | 東海道新幹線(ひかり) 44分 |
| 新大阪駅 | 東海道新幹線(ひかり) 2時間10分 |
| 修善寺駅 | 伊豆箱根鉄道 35分 |
| 河津七滝バス停 | 東海バス 1時間5分 |



※現地駐車場は数に限りがあります。各自ご確認ください。

GEOPARK FOOTPATH 中伊豆エリア

天城火山がつくった滝と溪谷 中伊豆エリアの 絶景ポイント



01 太郎杉
滑沢溪谷入口から南西に約1.5kmほどの林道にある、天城一の杉です。高さ53m、根回り13.6m。樹齢400年を超えるとされ、静岡県天然記念物に指定されています。「森の巨人たち100選」にも選ばれています。



02 滑沢溪谷
溪谷の底に続く滑らかな一枚岩は、谷を埋めて流れた溶岩です。本谷川の清流が磨き上げた岩の表面には、美しい節理(溶岩が冷却する際にできた割れ目)が刻まれ、秋には美しい紅葉が見られます。



03 旧天城トンネル
明治37年に天城越えの難所に建設された石造の道路トンネルです。このトンネルができたことで、地域の人々は険しい峠越えから開放されました。アーチや側面などすべて切り出された石で建造されており、明治の職人技が息づいています。国の指定重要文化財です。



04 河津七滝
約2万5000年前、伊豆東部火山群のひとつ「登り尾南火山」から流れ出した溶岩の上を河津川の清流が流れ、さまざまな形の滝を造りだしています。七滝のうち「エビだる滝」を除く6つの滝と、その上流の猿田淵の岩盤には、溶岩が冷え固まる時の収縮でできた美しい柱状節理が刻まれています。
※上記の写真はそのうちの釜滝です。



伊豆近代文学博物館

道の駅「天城越え」内にあるこの施設は、伊豆にゆかりのある文学者や作家、120名の資料を展示しています。特に川端康成と井上靖に関しては詳しく展示され、天城を舞台にした『伊豆の踊子』の肉筆原稿などが見どころです。中庭には井上靖の旧邸が移築され、執筆当時の様子をうかがうことができます。

本格派にオススメ! ロングトレイル

気軽に楽しめる伊豆半島ジオパークフットパスに対して、20km~100km以上と距離が長く、宿泊を伴うロングトレイルを伊豆半島で行うのも魅力です。行程が長い分、自然や文化を楽しむことができます。特に年中ドライブできる伊豆半島は、四季折々のジオサイトを巡ることで、より奥深い体験ができることでしょう。

ロングトレイルイメージ

伊豆半島ジオパークフットパスの歩き方

ジオパークフットパスとは

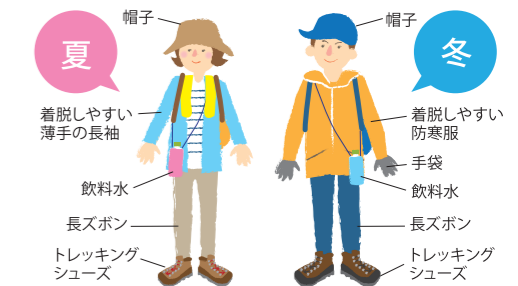
「フットパス」とは、英語を発祥とする歩くこと[Foot]を楽しむための小径[Path]です。森や川、海岸線、田園地帯、古い街並みなどの風景を楽しみながら、街から街へと歩きます。地域の自然や文化、歴史を歩くスピードで感じながら、地元の産品を味わう楽しみもあります。イギリスではフットパスが全土に網目のように張り巡らされています。近年、日本でもフットパス活動が始まり、各地の魅力を活かしたフットパスが整備されています。

地図の利用方法

コースがどこから始まり、どこを通って、どこへ至るのか。歩き始める前に地図を確認し、イメージをつかむことが大切です。歩きはじめたら、地図で現在地を確認し、次の目的地までの道のりを把握しましょう。道標が十分に整備されていないこともあります。分岐の目印となる「地形」や「ランドマーク」を必ず確認しましょう。

服装・道具

野山に入るため、長袖・長ズボン、トレッキングシューズで歩きましょう。日差しが強い地域が多いため、冬でも帽子をかぶりましょう。季節や天候によっては、手袋・雨具・防寒防風具も準備してください。水分が補給できる場所は限られます。飲料水は十分に用意しましょう。



その他/地図、非常食(おやつ)、常備薬、カメラ、携帯電話、双眼鏡など

歩き方

- 歩き始める前に準備運動をして、体をほぐすとともに足を慣らしておきましょう。
- ジオパークの雄大な景観や多様な自然を堪能しながら、ゆっくり歩きましょう。
- 休憩の目安は、1時間歩いて5分程度。無理な計画を立てずに時間に余裕をもちましょう。
- ゆっくり、小股で歩きます。足の裏全体をフラットに地面につけるのが基本です。

安全上の注意点

- ジオパークフットパスは、自然の中に入つての活動になります。安全管理は自己責任が基本です。
- 天候の急変や体調の変化もあります。無理をせず、余裕を持って行動しましょう。
- 危険な生物(スズメバチ・マムシ・ヤマカガシ・ツタウルシ等)に注意しましょう。
- 携帯電話がつかない場所、スマートフォンの地図やGPSが使えない場所もあります。

自然環境の保護について

未来の子どもたちが、今の自然環境を利用できるようにするためにも、環境の改変につながることは絶対に避けてください。自然公園法や文化財保護法などの法律で保護されている場合もあります。

- 動植物・岩石等の採集は禁止です。
- ゴミは持ち帰ります。● むやみなたき火など禁止です。

お問い合わせ

| | |
|------------------|--|
| [電車] 伊豆箱根鉄道株式会社 | ☎055-977-1207 |
| [バス] 東海自動車株式会社 | ☎0557-36-1112 |
| [タクシー] 静岡県タクシー協会 | ☎054-261-1401 |
| 伊豆市役所 産業部 観光商工課 | ☎0558-72-9911 http://kanko.city.izu.shizuoka.jp/ |
| 伊豆市観光協会 | ☎0558-73-1958 http://www.izushi.info/ |
| 河津町役場 産業振興課 | ☎0558-34-1946 http://www.town.kawazu.shizuoka.jp/ |
| 河津町観光協会 | ☎0558-32-0290 http://www.kawazu-onsen.com/ |

監修/伊豆半島ジオパーク推進協議会事務局
〒410-2416 静岡県伊豆市修善寺838-1 ☎0558-72-0520
http://izugeopark.org

制作/静岡県・観光政策課